

平成25年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成25年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成25年度の病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

(以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

(1) 平成 25 年度決算と中期経営計画に基づく病院事業の運営について

平成 25 年度の病院事業会計の収益的収支は、2 億 1,880 万円の赤字（純損失）であり、前年度に比べ 236 万円赤字額が増加しています。

また、病院事業全体では、94 億 6,627 万円の累積欠損金が生じているなど厳しい状況が続いています。

平成 25 年度末の正味運転資本（内部留保資金）は、前年度より 1 億 903 万円増加し、12 億 996 万円（流動資産 17 億 4,860 万円から流動負債 5 億 3,864 万円を差引いた額。流動資産のうち現金預金は 12 億 4,441 万円）となっています。

病院事業庁では、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進するため「三重県病院事業 中期経営計画（平成 25 年度～平成 27 年度）」を策定し、各年度における成果目標等の進行管理を行っています。しかし、平成 25 年度は、目標未達成の項目が見受けられますので、各病院の取組成果や課題を踏まえたうえで、引き続き計画の着実な推進を図っていただきたい。

また、県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、それぞれの病院が安全・安心で良質な医療を継続的に提供できるよう取り組むとともに、引き続き経営の健全化を図っていただきたい。

なお、平成 25 年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりです。

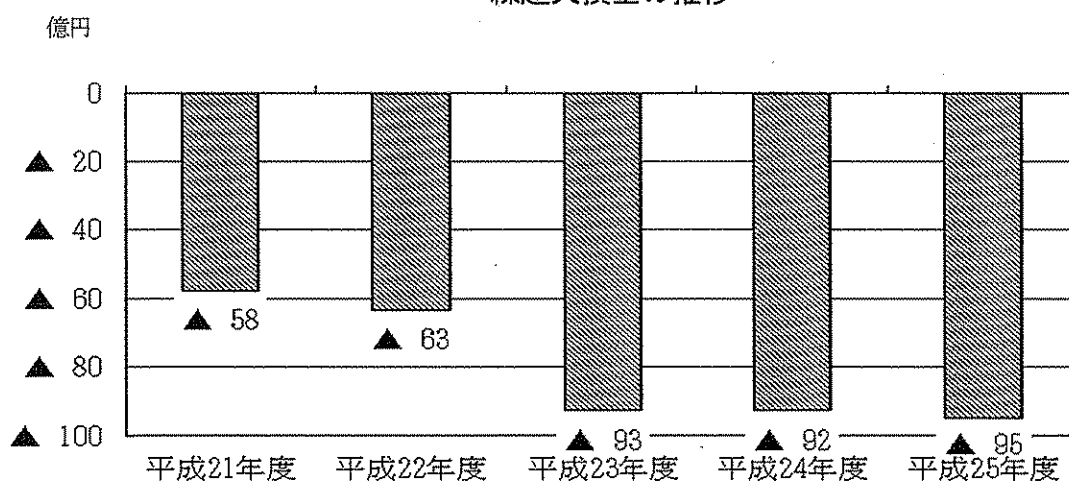
収益的収支の状況

(単位：円)

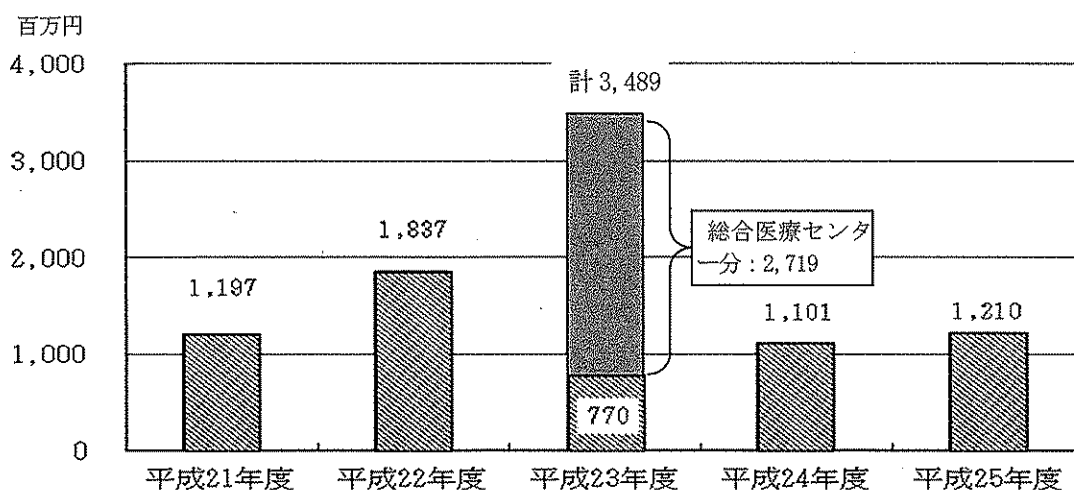
病 院 名	区 分	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増 減 (A) - (B)
こころの医療センター	総 収 支	△ 101,320,622	21,452,061	△ 122,772,683
	経 常 収 支	2,958,378	125,731,061	△ 122,772,683
一 志 病 院	総 収 支	10,990,661	△ 87,835,418	98,826,079
	経 常 収 支	24,386,661	△ 74,439,418	98,826,079
志 摩 病 院	総 収 支	△ 128,471,129	△ 150,054,109	21,582,980
	経 常 収 支	△ 128,471,129	△ 150,054,109	21,582,980
計	総 収 支	△ 218,801,090	△ 216,437,466	△ 2,363,624
	経 常 収 支	△ 101,126,090	△ 98,762,466	△ 2,363,624

(注) 経常収支は、総収支から特別利益・特別損失を除いたもの。

繰越欠損金の推移



正味運転資本(内部留保資金)の推移



(注) 正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(未収金等)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(未払金等)を差し引いたもの。

ア こころの医療センター

総収支は1億132万円の赤字であり、経常収支は295万円の黒字を確保しているものの、それぞれ前年度に比べ1億2,277万円収支が悪化しています。

これは、診療体制が一時的に縮小したことに伴い、入院患者数が大幅に減少し、医業収益が前年度に比べ2億2,029万円減少したことによるものです。

このため、新たに整備した外来棟の有効活用による外来収益の増加や、適切な病床運用による稼働率と診療単価の向上などにより、経営の健全化を図っていただきたい。

また、国の医療政策において、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性が示されている中、病院機能の再編・推進を継続し、訪問看護などのアウトリーチサービスや、作業療法、デイケアといった日中活動支援を進められてきていますが、引き続き、地域生活支援体制の充実に取り組んでいただきたい。

さらに、精神科救急・急性期医療などの政策的医療やアルコール依存症治療、認知症治療、精神科早期介入・予防などの先進的医療の取組により、今後とも精神科医療の中核病院として求められる役割や機能の充実に図っていただきたい。

※ アウトリーチ（サービス）＝医師、看護師、精神保健福祉士など医療・福祉関係者が患者のもとに直接出向いて心理的なケアや必要とされる支援を行うこと。

イ 一志病院

総収支は1,099万円の黒字、経常収支は2,438万円の黒字となり、入院収益の増等により、それぞれ前年度に比べ9,882万円収支が改善しています。

地域の過疎化・高齢化が進む中、引き続き家庭医療を中心とした地域医療や予防医療、在宅療養支援を進めるとともに、三重大学と連携し、家庭医（総合診療医）の育成拠点として医師や看護師など地域医療を担う人材の育成に取り組んできているところです。

また、これからの地域医療には、保健、医療、福祉を包括した取組が必要であり、その体制の整備が求められていることから、医師や看護師等の医療関係者、ケアマネージャーや社会福祉士等の福祉関係者、保健師等の保健関係者などが参加し、情報交換会や講演会など多職種が連携して地域包括ケアを推進する事業を実施したところです。

引き続き、多職種が連携した取組を進めるとともに、全人的な医療に精通した家庭医が中心となり、関係機関や住民とともに、地域に最適な医療の体制づくりに取り組んでいただきたい。

参考：「三重県病院事業庁 中期経営計画」より抜粋

「家庭医療」は、臓器単位ではなく、患者それぞれの家庭や職場、地域などの背景も考慮した全人的な医療であり、医療、予防（保健）、介護（福祉）の連携を考えた包括的なケアを提供するものです。

ウ 志摩病院

総収支、経常収支ともに、1億2,847万円の赤字であります。それぞれ前年度に比べ赤字額が2,158万円縮小しています。

なお、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、平成24年度以降の三重県病院事業会計には、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれておりません。

そこで、志摩病院全体の収支状況を把握するため、病院事業会計の損益計算書と指定管理者から提出された収支報告書との合計額を前年度と比較すると、総収支、経常収支ともに1億3,380万円改善しています。

指定管理者にあっては、内科及び救急・総合診療科を中心とした常勤医師の確保などにより、入院・外来機能、救急診療機能などの段階的な回復に努め、診療体制の充実を図っているところであります。病院事業庁においては、今後とも地域の中核病院としての役割・機能を担えるよう、基本協定や業務報告等に基づきその運営状況を適時・的確に把握しながら、指定管理者と十分に協力・連携することにより、引き続き、各診療科の常勤医師や看護師の確保など診療体制の充実を図るとともに、地域医療の確保・推進に努めていきたい。

【参考】 志摩病院決算額 (対前年度比較：主な項目のみ) (単位：百万円)

主な項目		平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増減 (A) - (B)	主な増減理由
収入	入院収益	2,037	1,923	114	・入院診療単価（一般病棟）の増 (H24: 35,810円→H25: 38,130円)
	外来収益	834	794	40	・外来延患者数（一般）の増 (H24: 60,534人→H25: 64,610人)
	負担金等	568	613	△ 46	・職員数の減に伴う現給補償の減 △58百万円
支出	給与費	2,139	2,110	29	・医師給の増 42百万円 ・看護師給の減 △55百万円 ・医療技術員給の増 25百万円
	材料費	641	609	32	・診療材料費の増 28百万円
	経費	853	913	△ 60	・委託費の減 △28百万円 ・修繕費の減 △16百万円
医業収支		△ 1,087	△ 1,238	151	
経常収支		△ 581	△ 715	134	
総収支		△ 581	△ 715	134	

- (注) 1 決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値)である。
 なお、県と指定管理者とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除いている。
- 2 県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金(平成24年度：541百万円、平成25年度：435百万円)は含めずに比較している。
- 3 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

(2) 未収金の回収と発生防止について

平成25年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）は、前年度と比べて505万円減少し、3,879万円となっています。

未収金の回収については、電話、文書、訪問等による督促に加え、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託を行っており、平成25年度中に713万円を回収（会計上の減額処理238万円と合わせ951万円減少）しているところでありますが、引き続き回収に向けての取組を進めていただきたいと思います。

また、平成25年度においては、445万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたいと思います。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	平成25年度末 (A)		平成24年度末 (B)		増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	133	25,055	172	26,890	△ 39	△ 1,835
一 志 病 院	18	478	12	421	6	57
志 摩 病 院	105	13,258	136	16,538	△ 31	△ 3,281
合 計	256	38,790	320	43,849	△ 64	△ 5,059

(注) 1 志摩病院に関しては、指定管理者による運営に移行する前の分（平成24年3月31日までに発生した分）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病 院 名	新規発生	回収	会計上の減額処理	計
こころの医療センター	4,326	△ 4,121	△ 2,040	△ 1,835
一 志 病 院	131	△ 40	△ 35	57
志 摩 病 院	0	△ 2,975	△ 305	△ 3,281
合 計	4,457	△ 7,136	△ 2,380	△ 5,059

第3 経営の概要

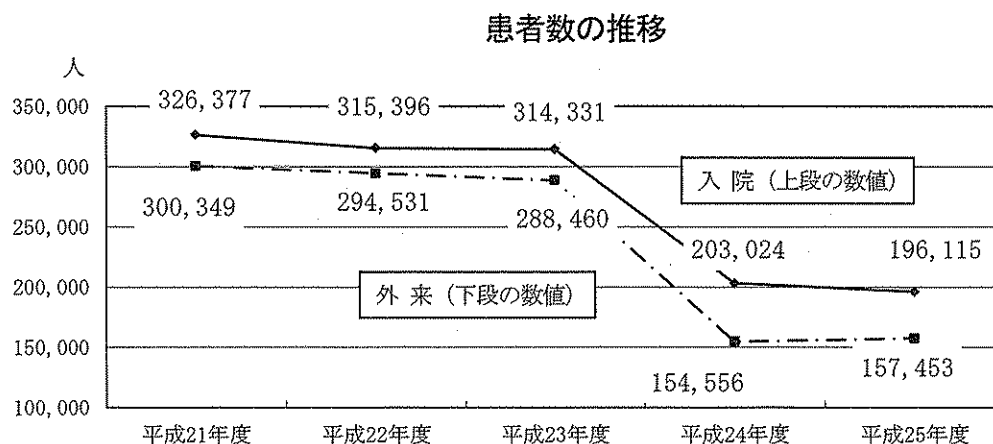
1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきましたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入しています。

3病院の許可病床数は、平成25年度末時点で計836床ですが、一般病床のうち志摩病院では、118床が一時休床となっています。また、一志病院では療養病床44床が平成19年度から一時休床となっており、家庭医（総合診療医）の育成拠点としての整備を行うにあたって、平成24年4月から病床数を44床から40床に改めました。

なお、こころの医療センターでは、病院機能再編の取組の一環として、平成25年1月から52床を休床としています。

患者数の状況としましては、平成25年度の入院患者数は延べ196,115人（1日平均537人）で、前年度に比べ6,909人減少し、外来患者数は延べ157,453人（1日平均645人）で、前年度に比べ2,897人増加しています。



2 経営成績

平成25年度の総収益は54億3,902万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が27億4,074万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が26億9,827万円となっています。収益は、主に医業収益の減等により、前年度に比べ2億6,538万円減少しています。

総費用は56億5,782万円であり、内訳は給与費、材料費等の医業費用が52億7,182万円、企業債支払利息等の医業外費用が2億6,832万円、退職給与引当金にかかる特別損失が1億1,767万円となっています。費用は、主に給与費、経費等の医業費用の減により、前年度に比べ2億6,302万円減少しています。

この結果、純損益は2億1,880万円の赤字となり、前年度に比べ236万円、純損失が増加しています。

また、純損益から特別利益及び特別損失を除いた経常損益は、1億112万円の赤字となっています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成25年度(A)	平成24年度(B)	増減(A) - (B)
総 収 益	5,439,020,049	5,704,409,338	△ 265,389,289
医 業 収 益	2,740,749,678	2,880,471,416	△ 139,721,738
医 業 外 収 益	2,698,270,371	2,823,937,922	△ 125,667,551
特 別 利 益	0	0	0
総 費 用	5,657,821,139	5,920,846,804	△ 263,025,665
医 業 費 用	5,271,821,751	5,509,797,360	△ 237,975,609
医 業 外 費 用	268,324,388	293,374,444	△ 25,050,056
特 別 損 失	117,675,000	117,675,000	0
経 常 損 益	△ 101,126,090	△ 98,762,466	△ 2,363,624
純 損 益	△ 218,801,090	△ 216,437,466	△ 2,363,624

3 一般会計繰入金の状況

平成25年度の収益的収入の繰入金は、24億323万円であり、前年度に比べ1億2,492万円減少しています。減少した主な理由は、志摩病院への医療行政に要する経費に対する繰入金の減によるものです。

資本的収入の繰入金は、7億5,613万円であり、企業債償還に対する繰入金の増により、前年度に比べ448万円増加しています。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

項 目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A)/(B)	
こころの医療 センター	収益的収入	915,151,000	897,276,000	17,875,000	102.0
	資本的収入	214,353,000	204,444,000	9,909,000	104.8
	計	1,129,504,000	1,101,720,000	27,784,000	102.5
一 志 病 院	収益的収入	321,118,000	309,726,000	11,392,000	103.7
	資本的収入	57,122,000	67,847,000	△ 10,725,000	84.2
	計	378,240,000	377,573,000	667,000	100.2
志 摩 病 院	収益的収入	1,024,940,000	1,154,451,000	△ 129,511,000	88.8
	資本的収入	484,662,000	479,366,000	5,296,000	101.1
	計	1,509,602,000	1,633,817,000	△ 124,215,000	92.4
県立病院課	収益的収入	142,022,000	166,706,000	△ 24,684,000	85.2
	資本的収入	0	0	0	-
	計	142,022,000	166,706,000	△ 24,684,000	85.2
合 計	収益的収入	2,403,231,000	2,528,159,000	△ 124,928,000	95.1
	資本的収入	756,137,000	751,657,000	4,480,000	100.6
	計	3,159,368,000	3,279,816,000	△ 120,448,000	96.3

(注) 1 収益的収入＝建設改良に要する経費以外の繰入金
2 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成25年度の延べ入院患者数は107,910人（1日平均296人）であり、前年度に比べ9,643人減少しています。延べ外来患者数は61,724人（1日平均253人）であり、前年度に比べ1,150人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成25年度の総収益は31億1,378万円であり、入院収益の減等により、前年度に比べ2億4万円減少しています。

総費用は32億1,510万円であり、給与費の減等により、前年度に比べ7,726万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ1億2,277万円悪化し、1億132万円の赤字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

2 一志病院

(1) 患者数の状況

平成25年度の延べ入院患者数は13,029人（1日平均36人）であり、前年度に比べ3,093人増加しています。延べ外来患者数は22,054人（1日平均90人）であり、前年度に比べ98人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成25年度の総収益は8億8,697万円であり、入院患者数の増による入院収益の増等により、前年度に比べ8,931万円増加しています。

総費用は8億7,598万円であり、給与費の減等により、前年度に比べ950万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ9,882万円改善し、1,099万円の黒字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

3 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成25年度の延べ入院患者数は75,176人（1日平均206人）であり、前年度に比べ359人減少しています。延べ外来患者数は73,675人（1日平均302人）であり、前年度に比べ4,145人増加しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成25年度の総収益は12億9,093万円であり、負担金・交付金の減等により、前年度に比べ1億2,814万円減少しています。

総費用は14億1,940万円であり、経費（交付金）の減等により、前年度に比べ1億4,973万円減少しています。

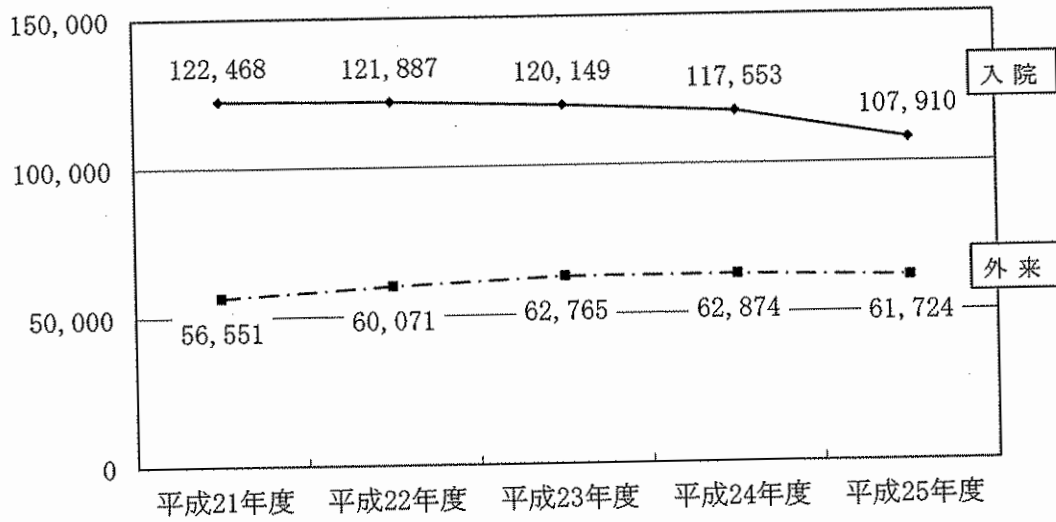
総収支は、前年度に比べ2,158万円改善し、1億2,847万円の赤字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

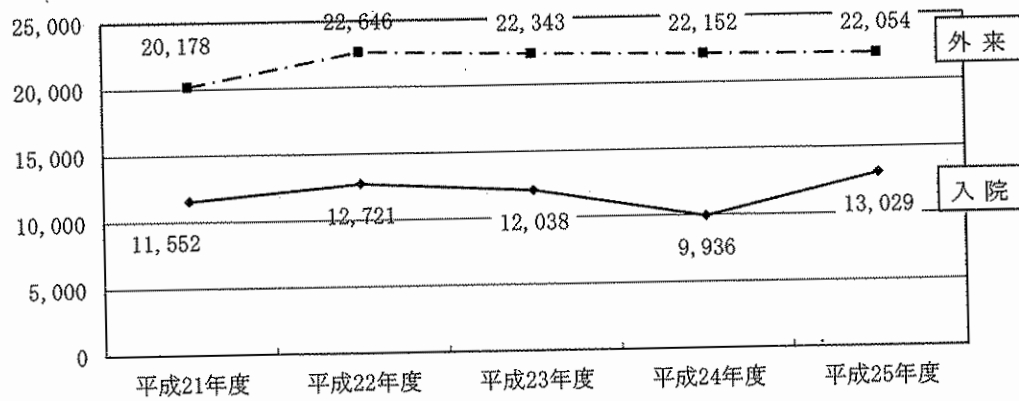
(参考)

患者数の推移 (単位:人)

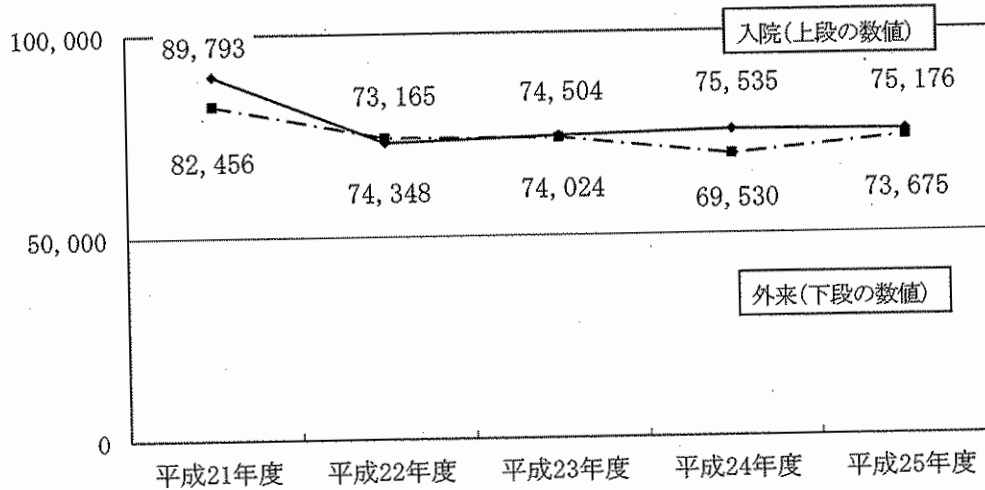
こころの医療センター



一志病院

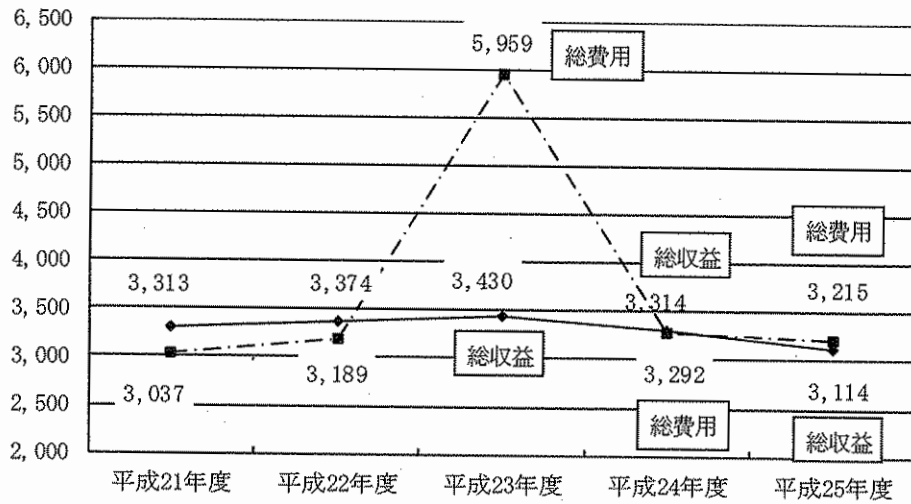


志摩病院

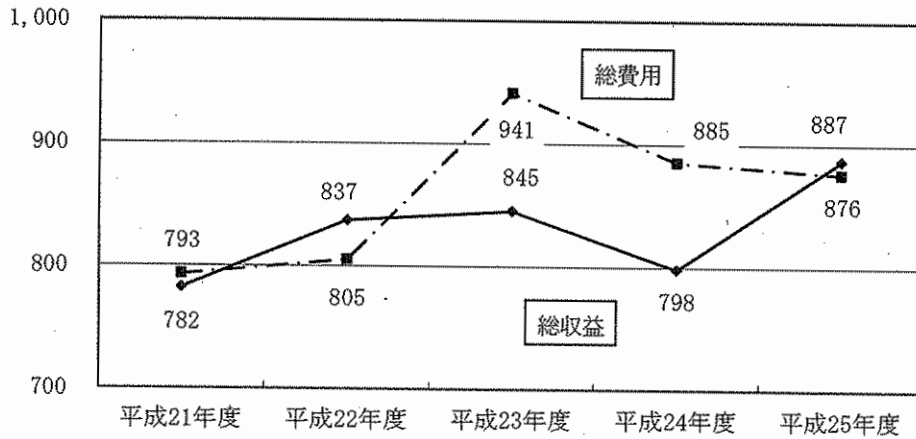


総収益と総費用の推移（単位：百万円）

こころの医療センター



一志病院



志摩病院

